

江南PTAだより (H28年度 第2号)

平塚江南高校PTA本部 平成29年3月6日発行

第1号発行から早くも8カ月が経ち、今年度も残すところ一ヶ月を切りました。三年生は卒業式を目前に控え、それぞれの進路に思いを巡らせている時期でしょうか。さて、今年度のPTA活動も終盤を迎えた今、締め括りとして夏休み以降の主に本部役員が携わった活動を中心に紹介させていただきます。

蘇ったスタディアシスト

8月22日、23日夏休みの暑いさ中、生徒会のメンバーが中心となって地元近隣の小中学生に勉強を教えるイベント「スタディアシスト」をご存知でしょうか？

平塚中等教育学校の設立に伴い、優秀な生徒が中高一貫校へ流れることの危機感から、当初は小学生を中心に平塚江南高校を知ってもらうために学校が始めた取り組みだったようです。ところが、周知不足なのか二日間の開催でも集まるのは10名に満たないようになりました。

いよいよ中止の声が学校から上がったところ、一部の生徒から「この行事があるから江南を目指して来た。是非続けて欲しい。」と生徒自ら小中学校に働きかけ希望者を募ったところ、なんと30名を超える小中学生が夏休みの宿題や問題集を手に集まって来てくれました。PTAは当日飲み物や

お菓子をサービスし見守るばかりでしたが、教える生徒達も教わる小中学生達もお互いに目を輝かせている様子に我が江南生を誇らしく感じました。



平塚秦野地区大会

～幹事校としての重責～

10月2日平塚市中央公民館で平塚秦野地区大会が開かれました。前号でお伝えしたように、今年度は本校が幹事校として大会の運営を担いました。先生と会場の手配から始まり、講師の方の選任、依頼、発表校や会場との打ち合わせ等準備を進め、当日は先生方、運営委員会の皆さん、ボランティアの保護者の方々のご協力の元、メンバーが一丸となって大会を切り盛りしました。

慣れない事ばかりで、慌てふためく場面もありましたが、「良い大会でしたね。」と暖かい言葉を他校のPTAの方から頂きようやく胸を撫でやす事が出来ました。

当初は不安に感じた幹事校ですが、PTAの一体感を思いがけず感じる事が出来、心地良い疲労に包まれ帰路に着きました。



コサージュ制作ボランティア

～青いバラに込められた想い～

2年前に他校のPTA活動発表を聞き、ぜひ江南も！と始めた卒業生に贈る手作りコサージュボランティア。3回目の今年は、「卒業生が胸に付ける花に想いを込めたい」と言う渡邊会長の発想、3年生の役員方の意見を結集し、今年らしさと作りやすさにこだわって選びました。全学年から保護者ボランティアが集まり、稲垣先生や江川前会長の応援も合わせて72名もの手で、心を込めたコサージュを作ることができました。受験期が佳境に入っている3年生の保護者、思いは皆同じです。お喋りしながらコサージュを作る手に熱が入ります。2年生、1年生の保護者の皆さまも、ご協力をありがとうございました。3年の学年カラー青に因んだ「ブルーローズ」の花言葉は、「奇跡・不可能を可能にする。」です。チャレンジの結果は、今は見えないかもしれませんが、自分の足で進み、希望を追い続けたその過程こそが、それぞれの生徒の宝となるはずで。卒業式の日には、皆様の想いのこもった奇跡を呼ぶブルーローズのコサージュが、69回生一人一人の制服の胸元を輝かせることを楽しみにしています。

来年も再来年も、また皆様のお力で江南高校を盛り上げていってくださることを期待しています。

副会長 塚 洋子



一文字で表す今年度のPTA活動

PTA活動として、月一回運営委員会を開催しております。そのメンバーを代表して小野校長、そして各委員会より「今年度の活動を振り返り、その内容あるいは印象を一文字で表すと？」というテーマでコメントを寄せて頂きました。

清水寺ならぬ平塚江南高校PTAより平成28年度の一文字をお届けいたします。

秀

校長 小野文生

本校を一言で表すなら「秀」です。生徒は、90有余年にわたる伝統ある高校に入学することを夢見て、各地域から選りすぐられた高い能力を持って集まっています。各々の学習能力は勿論のこと、さらに高みを目指してひたむきに努力する姿勢はまさに秀でた力を有した者の集団です。一方、その集団を指導する職員は、ミッションである高い進学意欲を持つ生徒一人ひとりの希望する進路を実現する、そして、将来社会の優れたリーダーとして活躍できる人物を育成することを大きな目標として、きめ細やかに対応する秀才ばかりです。さらに、生徒の青春の舞台となる学校は、支援していただく優秀な同窓生や保護者、地域の方々、少々年季は入っていますが愛着感ある学び舎に見守られ、秀逸な教育環境となっています。

生徒諸君には、ここで得た仲間と共に大きく羽ばたき、全世界で活躍する人間として成長し、自身の人生が『秀』の評価となるよう期待しています。

安

交通安全推進委員会

月1回あいさつ運動を兼ねた登校指導を通して、ルールやマナーを再確認してもらい、年1回自転車点検を行い、安心して安全な学校生活を過ごしてもらいたいと思い、漢字一文字で表すならば、安心安全の「安」です。

高

成人教育委員会

春には歌舞伎を高い席から観劇、舞台の奥まで良く見えました。秋には東京スカイツリー、秋空は高く晴れ、素晴らしい眺望でした。そして委員会のメンバーのテンションもいつも高く、楽しい一年間でした。

晴

ふれあい教育委員会

花植えや体育祭ドリンクサービスの活動日は、いつも天気心配をしていますが、今年度はすべて「晴天」に恵まれ、皆で協力して作業することができました。

報

広報委員会

子供は学校に通っているけれど、保護者は知らないことが多くありませんか？学校生活の様々なシーンに触れ、広く皆さまに報じることが、広報委員の役割りと考えています。先生方、生徒の皆さん、PTA会員の皆さまのご協力のもと、生き生きとした学校生活をお伝えしていきます。

虹

本部役員

28年度の本部を一文字に表すと「虹」です。誰一人被ることない輝く個性が織りなす6色＋平秦地区会長として県P連でもご活躍されているもう一人の渡邊会長。それぞれが多忙な中、笑いと歌が絶えない明るい本部でした。7色に輝く一筋の虹はいずれ消えていきますが、江南生のかげがえのない3年間のどこかで、何らかの彩を添えることができたなら幸いです。素敵な時間をプレゼントしてくれた生徒の皆さん、ありがとう。身近な距離でご協力下さった先生方と会員の皆様の温かいご支援にも心から感謝いたします。

PTA会長より

「PTAの懸け橋を胸に～」

平塚江南高校PTA会長 渡邊 晋

今年度は平塚秦野地区14校の幹事校として地区大会の企画運営、ボランティア活動、また県高P連理事校として様々な活動に参画致しました。他校との交流で得た事を本校PTA活動に活かし、また次年度にしっかり継承して参ります。皆様の本当に温かいご支援に心より感謝申し上げます、本校の益々の発展をお祈り致します。「三年間、有り難うございました。」